



スマートインフラマネジメント
システムの構築

【SIPスマートインフラ：北陸SIP】
市町村の道路インフラの維持管理に対する
効率化・高度化・戦略化に関するセミナー



グループで相互啓発するワークショップ

2026年1月9日

金沢工業大学 学長補佐、教授

宮里 心一、武市 祥司

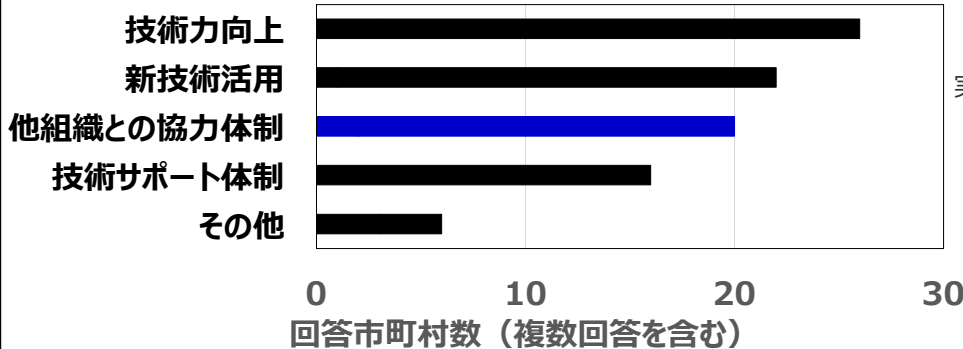
1/10

北陸地方4県の81市町村へのアンケート結果



スマートインフラマネジメント
システムの構築

Q 予算/人員が限られる中、道路橋の維持管理を効率化するためには何が必要？



実施期間：7月2～15日
回収率：49%

プログラム	参加方法	学び方
オンデマンド教材	個人参加	受動的
公開実験	多市町村から	
ワークショップ	複数	主体的・能動的



戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

3/10

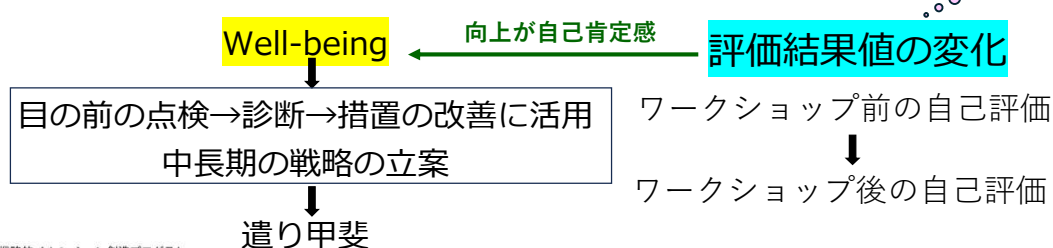
ワークショップの狙い



スマートインフラマネジメント
システムの構築

- ・市町村職員は、自身の市町における道路インフラの維持管理業務を改善でき得るヒントを得られる。
- ・市町村職員は、北陸地方内の官学産連携体制を実感し、安心できる。
 - 大学・高専⇔**市町**⇔地元コンサルタント
 - **市町**⇔**市町**
- ・ **Well-being** および **Evidence based Education** を含む。

改善にも活用



戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

2/10

Well-Being



スマートインフラマネジメント
システムの構築

Positive emotion ポジティブ感情

- ・ SIPの人材育成セットを通して、
- ・ 嬉しい・面白い・楽しい・感動・
- ・ 感激・感謝・希望・満足等



Accomplishment 達成

- ・ SIPの成果財活用で何かを達成する

Engagement 何かに没頭する

- ・ 時間を忘れてSIPの人材育成セットや個別/統合技術に積極的に関わる

Meaning (SIPの成果財の活用の)意味

- ・ SIPの活用の意味は？
- ・ SIPの活用をもっと大きなものとの関係で意識する

Relationships 人とのよい関係

- ・ SIPの官学連携で援助を受ける・与える



戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

2/10

プログラム



スマートインフラマネジメント
システムの構築

1か月前：フォーラムのテーマの検討開始

9:30-10:20	導入（Well-being、事前評価）
10:30-11:00	市町村のカテゴリー、活用可能な技術・システム紹介
11:00-11:45	フォーラムの進め方の説明と準備
11:45-15:15	フォーラム#1・#2（昼食を含む）
15:15-16:00	振り返り、修了証授与



戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

フォーラムの準備は各市毎で地元コンサルも同席

2/10

フォーラムについて（価値はひとそれぞれ）



スマートインフラマネジメント
システムの構築

相手

会社の同僚



課題 - お腹が空いているのですね(ニーズ)

提案 - では近所のカフェテリアへ行きましょう(アプローチ)

メリット - 静かだから、話し合いが続けられるでしょう(費用対効果)

代替案 - ファーストフードのハンバーガー屋は騒がしいので、避けたいです(競合)

相手

子供と一緒に夫婦



課題 - お腹が空いているのですね(ニーズ)

提案 - ではファーストフードのハンバーガーを食べに行きましょう(アプローチ)

メリット - 子供達も遊ばせながら、食べられるから、長時間話しが続けられるでしょう(費用対効果)

代替案 - 騒がないカフェテリアには行かないでね(競合)



戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

2/10

フォーラムでスピーチするコンテンツ



スマートインフラマネジメント
システムの構築

- ① トピックス（【A】将来への戦略立案、【B】日頃の点検・診断・補修の効率化・高度化、【C】地元のコンサルタントや建設会社も関係する維持管理体制の改善、など）
- ② 発表の想定相手（首長、議会・議員、上司、財務課長、県、国、市町内の建設会社、など）
- ③ 現状の課題
- ④ 新たに導入を提案する事や物
- ⑤ それによって得られるメリットと、逆に想定されるデメリット（**メリット>デメリット**）
- ⑥ 代替案との比較 ←主に現状の紹介



フォーラムの流れ




スマートインフラマネジメント
システムの構築

	時間(分)	者	内容
1	0	A市のa1さ、ファシリテータ	想定相手等の代役設定
2	4	A市のa1さん	トピックスに関する発表
3	7	B市のb1さん	良かったと感じた点や、同様の苦勞を感じている点
4	8	北陸SIPのe1さん	
5	9	C市のc1さん	さらに改善できるかもしれないと感じた点
6	10	北陸SIPのe2さん	
7	11	北陸SIPのe3さん	想定相手の立場での感想
8	12	北陸SIPのe4さん	
9	13	北陸SIPのe5さん	マインドとスキルの向上につながるフィードバックコメント
10	15	北陸SIPのe6さん	
11	17	拍手でA市を慰労、担当者の交代	
	20	B市のスピーチ開始、以降の流れはA市と同様	
	40	C市のスピーチ開始、以降の流れはA市と同様	
	60	終了	

振返りの一コマ



スマートインフラマネジメント
システムの構築




海外展開のために多言語の字幕

アラビア語	イタリア語	インドネシア語
クメール語	スペイン語	タイ語
ドイツ語	トルコ語	パンジャブ語
フランス語	ベトナム語	ベンガル語
ポルトガル語	英語	



全18言語

事後アンケート(2週間後)において、

- フォーラムでアイデア出しや提案の技法を学べた。(100%)
- フォーラムに対する満足度は100%
- 他の自治体の取組みや現状を理解できた。(60%)
- 業務に対する意欲が高まった。(20%)


戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program
9

ワークショップ前後のアンケート項目



スマートインフラマネジメント
システムの構築

共通


事前

事後

- 自分の仕事が地域・住民に**必要である理由を理解**している。
- 自分の仕事が地域・住民に**役に立っていると感じている**。
- 自分の仕事が地域・住民に**期待されていると感じている**。
- 自分は、**好きと思える仕事にたずさわっている**。
- 仕事を通じて**やりたいことを実現している**と感じている。
- 自分の仕事には**常に新たな学びがある**。
- 理想の（最も仕事ができる）レベルに対して、**現在のレベルはどの程度か**。
- 自分の**働いている地域を誇ることができる**。

- 今回の講習に多くのことを期待している。
- 本講習会に関する期待や意見がございましたら、自由にご記入ください。

- ワークショップの内容で役に立った・参考になったと思われる項目とその理由を選択してください（複数選択可）。
- **本ワークショップの満足度について回答ください。**
- **本ワークショップを職場の同僚など他の方に薦めたいと思いますか。**

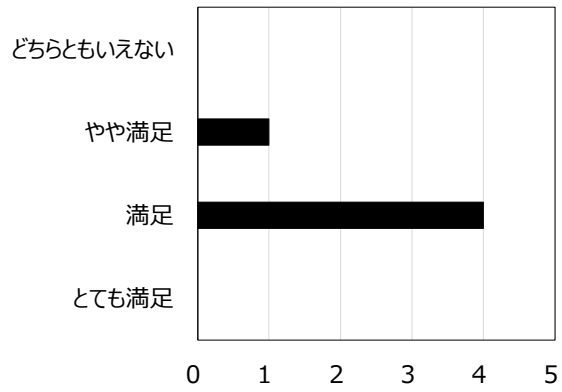

戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program
10

アンケート結果（一部の紹介）



スマートインフラマネジメント
システムの構築

満足度について



職場の同僚などの他者へ薦めたい？

